

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

HULFT Series 製品における Struts2 の脆弱性 (CVE-2016-4430) (CVE-2016-4433)
(CVE-2016-4431) に対する報告

HULFT Series 製品における Struts2 の脆弱性 (CVE-2016-4430) (CVE-2016-4433) (CVE-2016-4431) に対する報告をご案内いたします。

－ 記 －

1. 脆弱性の内容

Struts2 において、脆弱性が公表されました (CVE-2016-4430) (CVE-2016-4433) (CVE-2016-4431)。遠隔の第三者によって、ユーザが意図しない操作をさせられたり、外部の URL にリダイレクトされたり、細工されたデータを登録されたりする可能性があります。

<Struts2 の脆弱性に関する情報>

<https://jvn.jp/jp/JVN45093481/index.html>

2. 調査状況

上記脆弱性について HULFT Series 製品における影響をご案内いたします。

<HULFT Series 製品 調査状況 - 2016年6月29日 9:00 時点>

製品名	調査状況
HULFT	影響ありません。
HULFT BB	影響ありません。
HULFT8 Script Option	影響ありません。
HULFT-HUB	影響ありません。
HULFT-DataMagic	影響ありません。
HULFT-WebFT	HULFT-WebFT Ver. 2.0.0～2.2.0A に該当する場合、影響があります。 設定ファイルの修正で回避することが可能です。 設定ファイル (struts.xml) で、<struts>タグ内に以下の内容を追記。 ----- <pre><constant name="struts.allowed.action.names" value="[a-zA-Z]*" /></pre> -----
HULFT-WebConnect	影響ありません。
HDC-EDI Suite	影響ありません。
iDIVO	影響ありません。
SIGNALert	影響ありません。

【改訂履歴】

2016年7月1日	初版作成
-----------	------

以上